

第44週の発生動向 (2007/10/29~2007/11/4)

水痘については、むつ保健所管内において、新たに**注意報**が出されています。

第44週五類感染症定点把握

注：五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

保健所名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)	東地方(再掲)		青森市(再掲)		定点数							
	疾患番号・疾患名	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数		定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	
(100) インフルエンザ															0												
(72) RSウイルス感染症										1	0.17			3	0.07	1				2	0.25						
(73) 咽頭結膜熱	6	0.67	2	0.22			1	0.20				6	1.50	15	0.36	6			6	0.75							
(74) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	10	1.11	11	1.22	2	0.22			9	1.50	4	1.00	36	0.86	-19	3	3.00	7	0.88								
(75) 感染性胃腸炎	36	4.00	10	1.11	5	0.56	4	0.80	8	1.33	34	8.50	97	2.31	2	6	6.00	30	3.75								
(76) 水痘	7	0.78	3	0.33	4	0.44	9	1.80	18	3.00	17	4.25	58	1.38	31				7	0.88							
(77) 手足口病	4	0.44	38	4.22	2	0.22	5	1.00	1	0.17	3	0.75	53	1.26	-5				4	0.50							
(78) 伝染性紅斑					2	0.22							2	0.05	-1												
(79) 突発性発しん	2	0.22	3	0.33	2	0.22	2	0.40	4	0.67	1	0.25	14	0.33	-12				2	0.25							
(80) 百日咳															0												
(81) 風しん															0												
(82) ヘルパンギーナ	3	0.33					1	0.20					4	0.10	-2				3	0.38							
(83) 麻疹(成人を除く)			1	0.11									1	0.02	0												
(84) 流行性耳下腺炎	1	0.11	2	0.22					2	0.33	2	0.50	7	0.17	-2				1	0.13							
(86) 急性出血性結膜炎															0												
(87) 流行性角結膜炎							3	3.00	1	0.50			4	0.36	0												
(95) マイコプラズマ肺炎					5	5.00			1	1.00	2	2.00	8	1.33	1												

保健所名	定点数			
	インフルエンザ (小児科+内科+小児科)	小児科	内科	基幹
東地方	2	1	1	0
弘前	15	9	6	3
八戸	14	9	5	2
五所川原	7	5	2	1
上十三	9	6	3	2
むつ	6	4	2	1
青森市	12	8	4	2
合計	65	42	23	11

■ は警報 ■ は注意報 「空欄」: 患者発生数0

表 以外の感染症法対象疾患 (注: 結核については4月1日からの累計で、届出数は速報値です)

(9) 結核(二類全数把握疾患): 弘前2人、八戸2人、上十三2人 (19年計:151人)

感染症の窓

水痘

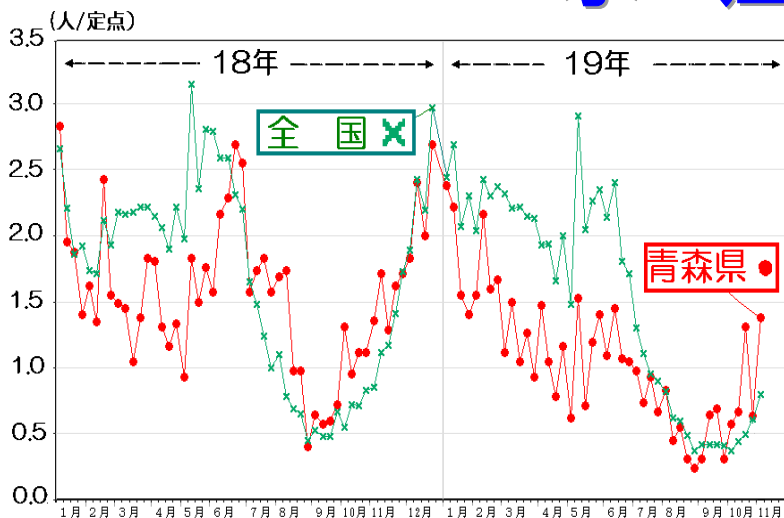


図1 全国及び青森県における発生状況

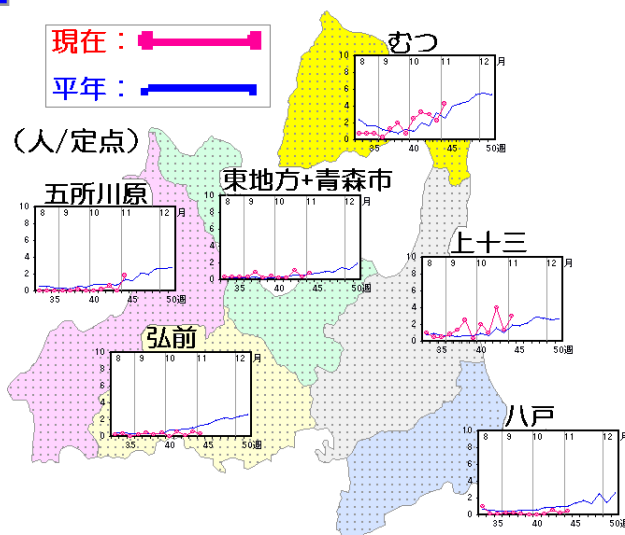


図2 保健所管内別発生状況 (32週~44週)

本疾患は、水痘・帯状疱疹ウイルスによる感染症です。かゆみを伴う発疹は、体幹だけでなく、鼻やのどの粘膜、目の結膜や角膜、頭部などにもできます。水痘は、幼児・学童期前半に多く、冬から春にかけて流行します(図1)。現在、上十三、むつ保健所管内において、増加傾向にあることから今後の動向に注意が必要です(図2)。潜伏期間は2~3週間で、感染は、主に飛沫核などによる空気感染で起こり、発疹が痂皮化するまで感染力が持続します。発疹は、かゆみが強いので、引掻き傷による二次性の細菌感染を起さないように、手指や皮膚を清潔に保つように注意する必要があります。成人や身体の弱っている方では重症になることもあります。予防には、ワクチンがありますが、任意接種のため、最寄の医療機関の医師に相談することをお勧めします。